

「家庭基礎」学習指導案

指導者 和歌山県立有田中央高等学校  
講師 山口 真里

- 1.日時 平成25年2月8日(金)第2限目 2.場所 1年2組教室 3.学年 1年2組(29名)
- 4.生徒観 全体的に明るく前向きに授業に取り組む姿勢がとれている。一人ひとりを見れば、授業に集中できていない生徒もいる。
- 5.単元 「子どもを知る」「発達のすばらしさ」
- 6.単元目標 子どもに対して興味・関心を持つ。子どもが持っている能力、価値観や感じ方を理解する。乳幼児の心身の発達について理解する。
- 7.本時の目標 子どもに対して興味・関心を持ち、新生児の身体的発達について知る。
- 8.本時の創意工夫(5観点について①～⑤)
  - ① 本時の学習内容を黒板に提示し、説明する。
  - ② 掲示物や保育人形などを活用する。
  - ③ グループで学習する時間を設定する。
  - ④ 自分や友人の乳幼児だったときの様子を振り返り、興味・関心をもたせる。
  - ⑤ 始業、終業の挨拶で授業へのけじめをつける。
- 9.本時の展開

	学習内容	学習活動(生徒の活動)	指導の留意点*支援(教師の活動)	学習形態	創意工夫①～⑤
導入	・挨拶 ・本時の学習内容	・服装、準備物を確認する。 ・本時の学習内容を確認する。	・授業の準備ができているか確認する。 ・学習内容を説明する。	一斉	⑤ ①
展開	折り紙の小さい穴があらわしているのは何？			個人 グループ	② ③
		・折り紙の穴について考える。	・折り紙を配布する。		
	乳幼児期を振り返ってみよう！			個人 一斉	④ ②
	・赤ちゃんとは ・赤ちゃんの誕生	・赤ちゃんのイメージを考える。自分の乳幼児期のエピソードを思い出し、プリントに記入する。 ・赤ちゃんが誕生するまでの過程を知る。知っていることを思い出す。	・赤ちゃんのイメージ、乳幼児期のエピソードを振り返らせる。 ・赤ちゃんが誕生するまでの過程を掲示物などで質問をしながら簡単に説明する。		
新生児の特徴を理解しよう！			個人 グループ	② ③ ④	
・新生児の特徴	・赤ちゃんの持っている能力を知る。 ・子どもの発達区分を理解する。 ・生まれたばかりの赤ちゃんの身体的特徴をグループで考え、理解する。 ・プリントに記入する。	・赤ちゃんの持っている能力や、子どもの発達区分を理解させる。 ・保育人形を観察させ、身体的特徴をグループで考えさせる。 ・机間巡視で生徒の様子をみる。			
まとめ	・本時のまとめ ・次時の予告 ・挨拶	・本時の内容を振り返り、次時の内容を確認する。	・本時の内容を振り返り、次時の内容を伝える。 ・最後までけじめをつけさせる。	一斉	⑤

## 指導案を書くにあたって

1.日時

2. 場所 授業を行う場所

3. クラスと人数

4.生徒観

5.単元

6.単元目標の目標

7.本時の目標

} 1行程度で簡潔に書く

8.創意工夫（5観点）

- ① 授業開始時に学習への見とおしを持たせる工夫
- ② 分かりやすい言葉（説明・発問）と視覚的な表示への工夫
- ③ 生徒同士の学び合いを活発にするための工夫
- ④ 学習場面の転換や多様な学習活動への工夫
- ⑤ 学習環境（規律とけじめある）への工夫

9.展開

・学習内容（教師の活動）：教師が指導する内容

・学習活動（生徒の活動）：生徒が学習する内容

・学習形態：学習する人数

・創意工夫①～⑤について

①本日の学習内容を、板書・パワーポイントを掲示する。

②・発問内容・・・**発問**、**説明**・・・できるだけ簡潔で短い言葉、身近なものに例える

**主発問**・・・授業における山場となる一番大切にしたい発問

・視覚的な表示・・・実物、動画・・・実物やDVD等を実際に見せる

模式図、グラフ・・・色を活用し表示する

チョーク色・・・覚える色、説明色等を固定する。

（蛍光チョーク・・・色覚、近視等への配慮）

③学習形態

- ・個人 一人ひとりが主体となる学習
- ・ペア（2人） 学習内容を確認したり、教え合いをしたりする学習
- ・4人グループ 役割（司会者・記録者・発表者）を決めコミュニケーション能力を向上させるとともに、多様な意見を交換または課題解決をする学習
- ・一斉学習 教師が主体となって学習させる

④学習場面と学習活動

- ・話し合い学習 生徒同士の意見交換から新たな視点を引き出す
- ・作業学習 手や体を動かすことで学びとらせる
- ・練習学習・反復学習 繰り返すことで身につけさせる
- ・家庭学習 自主的な学習習慣をつけさせる

⑤学習環境

- ・授業始めと終わりは必ず起立と礼
- ・生徒の学習活動が止まってから説明する
- ・机の上には、必要なものを置かせ、ペットボトル、カバン、携帯は置かないよう・に徹底させる。
- ・周りの空気をよむ。
- ・説明のときは、必ず教師の顔を見るために、顔を上げさせる。

\*支援：生徒が指導内容を理解できない場合等に対する支援  
(机間巡視、個別指導、個別対応プリント、具体物説明、再度説明、)